

## 若狭建設(株) 環境行動計画

### 取組方針

若狭建設株式会社は、『次世代へと継ぐ家造り』をモットーに、民間の注文住宅の建設、官公庁の土木工事、建築工事を行なっています。

当社の事業活動は、環境負荷が大きく、この負荷の低減に努めることにより、環境保全や地球環境の調和に繋がると考えます。

地域社会との融和を図りながら、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます
- ② 廃棄物の適正管理を行い、排出量削減、リサイクル率の向上に努めます
- ③ 省資源（紙使用量の節減）に努めます

この方針に基づいて社員一人ひとりが、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 25 年 6 月 14 日

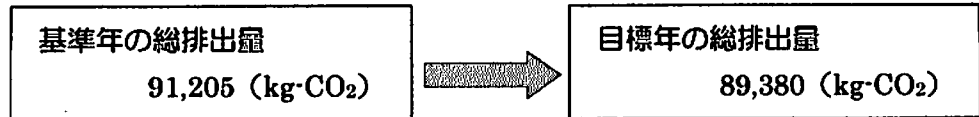
若狭建設株式会社

代表取締役 若狭 充

### 3 環境負荷の低減目標

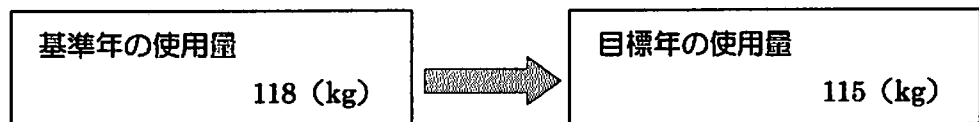
平成26年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも24年度です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】 産業廃棄物の適正管理を行い、排出量の削減と、リサイクル率の向上に努める

【目標3】 コピー用紙の使用量を2%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 室内温度を適温に設定する(冷房28℃、暖房20℃)
- ② 温度計を設置し、室内温度を管理する
- ③ エアコン使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する
- ④ 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する
- ⑤ パソコン、コピー機は、節電機能を活用する
- ⑥ ブラインドを利用して、冷暖房の効果を高める
- ⑦ 作業効率を良くし、残業時間を少なくする

(車両での取組)

- ⑧ 車両及び建設機械は、未使用時にはエンジン停止を徹底する
- ⑨ 車両及び建設機械は、点検を定期的に行ない整備する
- ⑩ タイヤの空気圧を定期的にチェックし燃費の向上に努める
- ⑪ 法定速度を守り、無駄の無いアクセル操作を心がける
- ⑫ 現場に行く際は、必要な機材、持ち物を確認することを徹底する

## 【取組2】 廃棄物の適正管理とリサイクルの推進、排出量の削減

### （事務所での取組）

- ① 一般廃棄物は、決められたごみ箱に分別して出す
- ② ファイル、フォルダーは、繰り返し利用する
- ③ 新しいカタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう
- ④ 排出する一般廃棄物の量を計り、記録する
- ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する

### （現場での取組）

- ⑥ 作業工程での分別に努める
- ⑦ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ⑧ 金属くず・紙くず・木くずは、すべてリサイクルする

## 【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ① 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ② 使用済み用紙の裏面を利用する
- ③ 書類、資料の電子データ化を進める

## 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。